

障害のある求職者が 必要としている合理的配慮について

－障害のある求職者の実態調査結果より－

- 井口 修一 (障害者職業総合センター主任研究員)
- 武澤 友広 (障害者職業総合センター)

はじめに

✚ 障害者の実態、希望に応じて安心して安定的に働き続けられる環境を整備していくことが課題となっており、**障害のある求職者が職場でどのような合理的配慮を希望しているかを明らかにすることが障害者雇用の課題改善のために必要**となっている。

✚ 本発表は、2018年に実施した「障害のある求職者の実態調査」（以下「実態調査」という。）で得られたデータを分析し、**障害のある求職者が必要としている合理的配慮を障害種類別に比較検討した結果を報告**する。

方法

- 実態調査は、ハローワークに求職申し込みを行った障害のある求職者について、ハローワーク担当者が職業相談等において把握した事例情報（個人情報を除く。）を2回に分けて所定の調査票ファイルに入力してもらい、それを回収することにより実施した。

47都道府県のハローワーク417所から4,962人分の調査データを収集した。

- 実態調査の調査項目のうち、就職にあたって「職場で必要としている配慮」の回答項目の選択率について、**障害種類別に差があるかどうかを明らかにするため、 χ^2 検定および残差分析を実施した。**

(注) 重複障害による影響を排除するため、単一障害のみのケースを対象に不明と回答したケースを除外してデータ分析を行った。

障害別分析結果 (1)

職場で必要としている 配慮 (11項目)	身体障害 (n=1,076)	知的障害 (n=394)	精神障害 (n=1,527)	発達障害 (n=334)	その他の 障害 (n=131)	χ^2	df	p	V
調子の悪いときに休み をとりやすくする	28.9%	19.0%	54.0%	24.0%	40.5%	288.2	4	<.001	.29
調整済み残差	-8.02	-8.55	16.27	-5.86	0.40				
能力が発揮できる 仕事への配慮	28.8%	49.5%	21.5%	47.0%	26.0%	172.9	4	<.001	.22
調整済み残差	-0.66	9.20	-9.27	7.34	-0.93				
通院時間の確保、服薬 管理など雇用管理上の 配慮	28.6%	7.9%	37.1%	18.3%	48.9%	174.0	4	<.001	.22
調整済み残差	-0.97	-10.09	8.36	-4.83	4.88				
短時間勤務など 労働時間の配慮	18.0%	14.2%	28.8%	16.8%	20.6%	69.7	4	<.001	.14
調整済み残差	-4.08	-4.11	8.14	-2.57	-0.48				
職場でのコミュニケー ションを容易にする手 段や支援者の配置	7.8%	37.3%	17.2%	39.8%	6.1%	292.1	4	<.001	.29
調整済み残差	-10.73	10.36	-1.56	10.69	-3.68				
業務内容の簡略化 などの配慮	7.8%	33.8%	9.4%	22.2%	7.6%	224.2	4	<.001	.25
調整済み残差	-5.93	13.20	-5.41	5.37	-1.81				

p<.05

障害別分析結果 (2)

職場で必要としている 配慮 (11項目)	身体障害 (n=1,076)	知的障害 (n=394)	精神障害 (n=1,527)	発達障害 (n=334)	その他の 障害 (n=131)	χ^2	df	p	V
上司や専門職員などによる定期的な相談	2.7%	17.0%	9.8%	20.7%	3.8%	140.6	4	<.001	.20
調整済み残差	-8.91	5.68	0.98	7.61	-2.18				
作業を容易にする 設備・機器の整備	9.1%	2.0%	0.9%	1.2%	2.3%	132.3	4	<.001	.20
調整済み残差	11.43	-1.84	-7.65	-2.53	-0.86				
移動のための配慮 (点 字ブロック、スロープ等)	6.5%	0.0%	0.1%	0.0%	1.5%	147.6	4	<.001	.21
調整済み残差	12.09	-3.09	-7.43	-2.82	-0.47				
業務遂行の支援や本 人、周囲に助言する者 等の配置	5.7%	28.4%	12.0%	24.9%	6.1%	182.9	4	<.001	.23
調整済み残差	-8.56	9.73	-1.39	6.82	-2.38				
必要なし	12.1%	4.6%	6.8%	2.7%	8.4%	47.1	4	<.001	.12
調整済み残差	6.20	-2.58	-2.03	-3.69	0.23				
		p<.05							

障害別分析結果 (3)

知的障害では、「能力が発揮できる仕事への配置」「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」「業務内容の簡略化などの配慮」などが多い。

精神障害では、「調子の悪いときに休みをとりやすくする」「通院時間の確保、服薬管理など雇用管理上の配慮」「短時間勤務など労働時間の配慮」が多い。

発達障害では、「能力が発揮できる仕事への配置」「職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置」「業務遂行の支援や本人、周囲に助言する者等の配置」などが多い。

その他の障害では、（難病が多数を占めており）「通院時間の確保、服薬管理など雇用管理上の配慮」が多い。

身体障害では、「必要なし」「作業を容易にする設備・機器の整備」などが多くなっているが、**身体障害種類別にデータを分析することが適切**である。

身体障害種類別分析結果 (1)

職場で必要としている 配慮 (10項目)	視覚障害 (n=74)	聴覚言語 障害 (n=108)	肢体 不自由 (n=499)	内部障害 (n=366)	χ^2	df	p	V
調子の悪いときに休み をとりやすくする	18.9%	12.0%	22.0%	44.5%	73.8	3	<.001	.27
調整済み残差	-1.92	-4.03	-4.51	8.33				
能力が発揮できる 仕事への配置	43.2%	28.7%	37.1%	14.2%	62.4	3	<.001	.24
調整済み残差	2.88	0.01	5.75	-7.58				
通院時間の確保、服薬 管理など雇用管理上の 配慮	21.6%	10.2%	18.6%	48.4%	114.5	3	<.001	.33
調整済み残差	-1.34	-4.43	-6.66	10.52				
短時間勤務など 労働時間の配慮	10.8%	7.4%	17.8%	23.5%	18.1	3	<.001	.13
調整済み残差	-1.72	-3.08	-0.33	3.23				
職場でのコミュニケー ションを容易にする手 段や支援者の配置	6.8%	50.0%	2.8%	1.9%	308.2	3	<.001	.54
調整済み残差	-0.30	17.50	-5.62	-5.12				
							p<.05	

身体障害種類別分析結果 (2)

職場で必要としている 配慮 (10項目)	視覚障害 (n=74)	聴覚言語 障害 (n=108)	肢体 不自由 (n=499)	内部障害 (n=366)	χ^2	df	p	V
業務内容の簡略化 などの配慮	8.1%	8.3%	9.8%	4.4%	9.0	3	.029	.09
調整済み残差	0.16	0.29	2.53	-2.92				
作業を容易にする 設備・機器の整備	17.6%	8.3%	13.2%	2.5%	35.7	3	<.001	.18
調整済み残差	2.56	-0.35	4.22	-5.57				
移動のための配慮 (点 字ブロック、スロープ等)	21.6%	0.9%	9.2%	1.6%	53.0	3	<.001	.22
調整済み残差	5.41	-2.51	3.27	-4.73				
業務遂行の支援や本 人、周囲に助言する者 等の配置	10.8%	14.8%	5.8%	1.6%	31.9	3	<.001	.17
調整済み残差	2.00	4.37	0.24	-4.11				
必要なし	6.8%	10.2%	14.2%	11.2%	4.7	3	.195	.07
調整済み残差								

※調整済み残差の空欄：非有意

p<.05

身体障害種類別分析結果 (3)

- ✚ **視覚障害**では、「**能力が発揮できる仕事への配置**」「**移動のための配慮**」などが多い。
- ✚ **聴覚言語障害**では、「**職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置**」「**業務遂行の支援や本人、周囲に助言する者等の配置**」が多い。
- ✚ **肢体不自由**では、「**能力が発揮できる仕事への配置**」「**作業を容易にする設備・機器の整備**」などが多い。
- ✚ **内部障害**では、「**通院時間の確保、服薬管理など雇用管理上の配置**」「**調子の悪いときに休みをとりやすくする**」「**短時間勤務など労働時間の配慮**」が多い。

必要としている代表的な配慮

代表的な配慮とは、選択率が20%以上でかつ障害別に見て5%水準で有意に多いと判定した項目とした。

障害名	必要としている代表的な配慮（選択率）	障害名	必要としている代表的な配慮（選択率）
視覚障害	能力が発揮できる仕事への配置（43.2%）	精神障害	調子の悪いときに休みをとりやすくする（54.0%）
	移動のための配慮（21.6%）		通院時間の確保、服薬管理など雇用管理上の配慮（37.1%）
聴覚言語障害	職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置（50.0%）		短時間勤務など労働時間の配慮（28.8%）
肢体不自由	能力が発揮できる仕事への配置（37.1%）		能力が発揮できる仕事への配置（47.0%）
内部障害	通院時間の確保、服薬管理など雇用管理上の配慮（48.4%）	発達障害	職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置（39.8%）
	調子の悪いときに休みをとりやすくする（44.5%）		業務遂行の支援や本人、周囲に助言する者等の配置（24.9%）
	短時間勤務など労働時間の配慮（23.5%）		業務内容の簡略化などの配慮（22.2%）
知的障害	能力が発揮できる仕事への配置（49.5%）		その他の障害
	職場でのコミュニケーションを容易にする手段や支援者の配置（37.3%）	通院時間の確保、服薬管理など雇用管理上の配慮（48.9%）	
	業務内容の簡略化などの配慮（33.8%）		
	業務遂行の支援や本人、周囲に助言する者等の配置（28.4%）		